

府中市障害者計画・府中市障害児福祉計画策定のための調査 (子どもの育ちや発達に関する調査)

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、令和3年3月に策定を予定しております「府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの18歳未満の身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費受給者証、**児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証**をお持ちの方の中から、1,000名を無作為に選ばせていただき、保護者の方にご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年10月 府中市

記入についてのお願い

1. **封筒のあて名のお子さん**について、**保護者の方**がご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「お子さん」とは、封筒のあて名の方を指します。保護者の方の回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただき、記入してください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください
の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[]内に具体的な答えを記入してください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

●月●日（●）までにご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部障害者福祉課 TEL 042-335-4545

おしらせ

この調査の結果については、令和2年4月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所障害者福祉課窓口等に設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画 までのスケジュール

府中市障害者計画^{※1}・府中市障害福祉計画^{※2}・府中市障害児福祉計画^{※3}は、この調査結果等を基礎資料とし、市民、学識経験者、障害者福祉団体等から構成された「府中市障害者計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

※1：障害者のための施策全般に関する基本的な考え方や方向性を定める6年間の計画

※2：障害福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

※3：障害児福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

令和2年3月 この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。

令和2年4月頃 調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。

令和2年秋頃 計画についてパブリックコメントを実施します。

ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。

令和3年3月 第4期府中市障害者計画・第6期府中市障害福祉・第2期府中市障害児福祉計画を策定します。

なお、現計画（第3期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画（第5期）・障害児福祉計画（第1期））は、前回の皆様にご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所障害者福祉課窓口や中央図書館等にてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

◆府中市障害者計画

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野
⇒ 府中市福祉計画 ⇒ 障害者計画・障害福祉計画（第4期）

◆府中市障害福祉計画（第5期）・府中市障害児福祉計画（第1期）

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野
⇒ 府中市障害福祉計画・障害児福祉計画

※ 設問文における「お子さん」とは封筒のあて名のお子さんのことを指します。
また、「あなた」とは記入者のことを指します。

F 1 記入される方とあて名のお子さん（以下、お子さん）との関係についておたずねします。（1つに○）

- | | |
|-------|---------------|
| 1. 母親 | 4. 祖母 |
| 2. 父親 | 5. その他 |
| 3. 祖父 | 〔具体的に： _____〕 |

F 2 お子さんはどちらにお住まいですか。（1つに○）

*市内にお住まいの方は 内にも記入してください。

1. 市内 → 町 丁目

2. 市外

あて名のお子さんについておたずねします

F 3 お子さんの性別と年齢をお答えください。（1つに○）

***戸籍上の区別とは別にお子さんのお気持ちを踏まえて、ご記入ください。**

(1) 性別

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) 年齢 *平成31年4月1日現在の年齢でお答えください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 乳児期（0～1歳） | 4. 小学校高学年（9～11歳） |
| 2. 幼児期（2～5歳） | 5. 中学生（12～14歳） |
| 3. 小学校低学年（6～8歳） | 6. 高校生（15～17歳） |

F 4 お子さんがお持ちの手帳または受給者証の種類ごとに、現在の程度に○をつけてください。

お持ちの手帳等の種類	現在の手帳の程度・受給状況
身体障害者手帳	1級 2級 3級 4級 5級 6級
愛の手帳	1度 2度 3度 4度
精神障害者保健福祉手帳	1級 2級 3級
特定医療費受給者証	1. 受給している〔対象の疾病： _____〕 2. 受給していない
児童通所受給者証 ・障害福祉サービス受給者証	1. 受給している〔利用中のサービス： _____〕 2. 受給していない

F 5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。お子さんの身体障害者手帳に記載された項目は次のどれですか。(いくつでも○)

1. 視覚障害
2. 聴覚障害
3. 音声・言語・そしゃく・平衡機能障害
4. 肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害)
5. 内部障害(心臓・肝臓・腎臓・呼吸器・膀胱・直腸・小腸・免疫機能の障害)

F 6 お子さんの主な障害や疾病が生じたのは、いつごろですか。(1つに○)

1. 出生時(出生前を含む)
2. 乳幼児期(0～**小学校入学前**)
3. 学齢期(小学校入学～中学校卒業)
4. 中学校卒業後～17歳ころ
5. わからない

F 7 お子さんと同居*している方はどなたですか。(いくつでも○)

* 2世帯住宅は同居としてお答えください。

* お子さんの父母の親族を含めてお答えください。

1. 母親
2. 父親
3. 祖父、祖母
4. 兄弟、姉妹
5. 親族
6. その他〔具体的に： _____ 〕

お子さんの通園・通学の状況についておたずねします

問1 お子さんは現在、保育所・保育園・幼稚園や学校に通っていますか。

(1つに○)

1. 保育所・保育園・保育ルーム
2. 幼稚園
3. 特別支援学校幼稚部
4. 公立小学校（通常の学級に在籍）
5. 公立小学校（通級指導学級・特別支援教室も利用）
6. 公立小学校（特別支援学級に在籍）
7. 特別支援学校小学部
8. 私立小学校
9. 公立中学校（通常の学級に在籍）
10. 公立中学校（通級指導学級も利用）
11. 公立中学校（特別支援学級に在籍）
12. 特別支援学校中学部
13. 私立中学校
14. 高等学校
15. 特別支援学校高等部
16. その他〔具体的に: _____〕
17. どこにも通っていない

問1-1 問1で「1」～「16」と答えた方におたずねします。

お子さんの通園・通学で、困っていることはありますか。(1つに○)

1. 通わせたい園・学校に空きがない
2. 通園・通学の送迎が大変
3. 通っている園・学校の対応が十分ではない
4. 通っている園・学校が子どもに適しているのかわからない
5. その他〔具体的に: _____〕
6. 特にない

お住まいについておたずねします

問2 あなた（記入者）のお住まいは次のうちどれですか。（1つに○）

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 持ち家の一戸建て | 6. グループホーム |
| 2. 持ち家の集合住宅 | 7. その他 |
| 3. 民間賃貸の一戸建て | 〔 具体的に： 〕 |
| 4. 民間賃貸の集合住宅 | |
| 5. 公営住宅、UR・会社の賃貸住宅 | |

問3 お住まいについて何か困っていることがありますか。

（1）設計・設備について（いくつでも○）

1. 階段や段差に苦労する
2. 浴室・トイレなどの家屋内の設備が不便
3. 住宅が狭い・または十分な部屋がない
4. 入り口や廊下のスペースが狭く移動がむずかしい
5. 駐車場がない
6. エレベーターがない
7. 耐震補強ができていない
8. その他〔具体的に： 〕
9. 特に困っていない

（2）住宅事情について（いくつでも○）

1. 家賃が高い
2. 駅から遠い、買物が不便など、立地が悪い
3. 近隣に住む人との間に問題を抱えている
4. お子さんが大きな声出したり動き回っていることに、近隣から苦情を受けている
5. 電車の音や人の声など騒音が気になる
6. その他〔具体的に： 〕
7. 特に困っていない

問4 お住まいに関する困りごとで、希望する支援は次のどれですか。（いくつでも○）

1. 住宅設備を改善する工事費用の給付
2. 家具転倒防止器具の支給
3. 住宅費の助成
4. 障害や子どもの育ちや発達に対する不動産会社の理解促進
5. 障害のある人や発達が気になるお子さんに対する近隣住民の理解促進
6. その他〔具体的に： 〕

日常生活についておたずねします

問5 お子さんは、日常生活において**障害や疾病など**があるために何らかの介助を受けていますか。(1つに○)

1. 受けている →問5-1、5-2、5-3にお答えください
2. 受けていない →問6へ進む

問5-1 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

(1) 介助をしている人はどなたですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 1. 母親 | 5. 近所の人 |
| 2. 父親 | 6. ボランティア |
| 3. 祖父 | 7. 公的なサービス(福祉サービス) |
| 4. 祖母 | 8. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕 |

(2) 主に介助している人はどなたですか。

((1)の選択肢から1つだけ の中に記入してください)

主な介助者

問5-2 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

お子さんは、**障害や疾病などの支援として**公的なサービス(例：ホームヘルプ・訪問看護)による介助を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 毎日 | 4. 週に1日 |
| 2. 週に4～6日 | 5. 受けていない |
| 3. 週に2～3日 | |

問5-3 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

お子さんは、**障害や疾病などの支援として**家族・親族・ボランティア(公的なサービスを除く)の介助を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 毎日 | 4. 週に1日 |
| 2. 週に4～6日 | 5. 受けていない |
| 3. 週に2～3日 | |

福祉サービスの利用についておたずねします

問6 お子さんの福祉サービスの利用状況・利用意向について、おたずねします。(1)～(15)のそれぞれについて、「1」～「5」にいくつでも○をつけてください。

		利用している	利用したいが 事業所に空きがない	今後、利用したい	利用したくない	わからない
(1) 居宅介護（ホームヘルプ） 自宅で、食事・排せつ・入浴の介護など、日常生活上の支援を行うサービス		1	2	3	4	5
(2) 同行援護 視覚障害により、移動に著しい困難を有する障害のある人の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護などを提供するサービス		1	2	3	4	5
(3) 行動援護 知的障害・精神障害により行動に著しい困難のある人に、行動の際の危険回避、その他の支援を行うサービス		1	2	3	4	5
(4) 短期入所（ショートステイ） 自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、食事・排せつ・入浴の介護などを提供するサービス		1	2	3	4	5
(5) 児童発達支援 障害のある児童（療育の必要な児童）に日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を行うサービス		1	2	3	4	5
(6) 医療型児童発達支援 障害のある児童（療育の必要な児童）に日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を行うとともに治療を提供するサービス		1	2	3	4	5
(7) 放課後等デイサービス 就学児に学校授業終了後や休業日に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進など多様なメニューを提供するサービス		1	2	3	4	5
(8) 保育所等訪問支援 障害児施設で指導経験のある児童指導員や保育士が、保育所などを2週間に1回程度訪問し、障害児や保育所などのスタッフに対し、障害児が集団生活に適応するための専門的な支援を行うサービス		1	2	3	4	5
(9) 居宅訪問型児童発達支援 重度の障害等により外出が困難な障害児に対し、居宅において児童発達支援を行うサービス		1	2	3	4	5

次ページの(10)～(15)にもお答えください

	利用している	利用したいが 事業所に空きがない	今後、 利用したい	利用したくない	わからない
(10) 障害児相談支援 障害児通所支援を利用する前に障害児支援利用計画を作成し、通所支援開始後、一定期間ごとにモニタリングを行う等のサービス	1	2	3	4	5
(11) 移動支援 ガイドヘルパーが、同行し、移動の手助けや交通機関の利用の補助などの外出をサポートするサービス	1	2	3	4	5
(12) 日中一時支援 障害のある人の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図る事業	1	2	3	4	5
(13) 意思疎通支援 手話通訳者、要約筆記者の派遣を行うサービス	1	2	3	4	5
(14) 補装具費の支給・日常生活用具費の給付 義足や車いすなどの補装具、日常生活用具の費用を支給・給付するサービス	1	2	3	4	5
(15) 子ども発達支援センター あゆの子 外来グループ 発達が気になる未就学の児童を対象に、親子グループ活動・併行通園のグループ活動・市内保育所等との連携など行うサービス	1	2	3	4	5

問6-1は、問6の(1)～(15)で1つでも「1」と答えた方におたずねします。
すべて「2」～「5」と答えた方は問7へお進みください。

問6-1 福祉サービスについて、満足していますか。(1つに○)

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------------------|
| 1. 満足 | } →問7へ進む | 3. やや不満 | } →問6-2にお答え
ください |
| 2. やや満足 | | 4. 不満 | |

問6-2 問6-1で「3」「4」と答えた方におたずねします。

福祉サービスの不満な理由はどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. サービス支給量が少ない | 7. サービス内容が分かりにくい |
| 2. 相談先が少ない | 8. サービスの情報が入手しにくい |
| 3. 希望する事業者や施設が見つからない | 9. その他 |
| 4. 緊急時に利用できない | 【具体的に： |
| 5. 費用負担が大きい | |
| 6. 利用方法が分かりにくい | |

お子さんの育ちや発達の状態についておたずねします

問7 あなた（記入者）はお子さんの育ちや発達について、気になったことはありますか。初めて気になった時期についてお答えください。（1つに○）

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 0歳～2歳 | 4. 中学校〔 〕年生 |
| 2. 3歳～就学前 | 5. 高等学校〔 〕年生 |
| 3. 小学校〔 〕年生 | 6. 気になったことはない |

問8 あなた（記入者）はお子さんの育ちや発達について、次の人・相談機関等に相談したことはありますか。（いくつでも○）

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 配偶者 | 11. 子ども発達支援センター あゆの子 |
| 2. 祖父母・兄弟等の親族 | 12. 児童相談所 |
| 3. 友人や知人 | 13. 東京都立の療育機関 |
| 4. 保育園・幼稚園・学校 | 14. 医療機関（療育機関除く） |
| 5. 民生・児童委員 | 15. 地域生活支援センター |
| 6. 児童館 | 16. その他の療育・相談機関 |
| 7. 子ども家庭支援センター | 〔 具体的に： 〕 |
| 8. 多摩府中保健所 | |
| 9. 保健センター | 17. どこにも相談していない →問9へ進む |
| 10. 教育センター | |

問8-1 問8で「1」～「16」のいずれかを選んだ方におたずねします。

相談をしたことで、どのような効果がありましたか。（いくつでも○）

- 話を聞いてもらって気持ちが楽になった
- 具体的な対応方法を考えることができた
- 適切な相談機関・医療機関を紹介してもらった
- 家族で子どものことについて話し合う時間が増えた
- 支援を受けて子どもが成長した
- さまざまな情報をもらい、子育ての役に立った
- 同じ悩みを持つ保護者と知り合い、共感することができた
- その他〔具体的に： 〕
- 特に変化はない

問9 あなた（記入者）はお子さんの育ちや発達について、医療機関で診断を受けましたか。（1つに○）

- 診断を受けた
- 診断を受けていない

問 10 あなた（記入者）は、障害のある人や育ちや発達が気になる子に関する府中市内の次の相談機関等を知っていますか。

（（1）～（5）について、それぞれ1つに○）

	利用 知っ てい てい る	利 用 知っ てい るが 、 い ない	今 知 ら な い が 、 後 利 用 し た い	利 用 予 定 は な い 。 利 用 し た く な い 。
(1) 地域生活支援センター（み～な、あけほの、プラザ、ふらっと） 地域で生活する障害のある人などやご家族に対し、生活全般の相談、サービス利用、当事者相談などを行っています。	1	2	3	4
(2) 子ども発達支援センター あゆの子 ことばが遅い、落ち着きがない、友達と遊べないなど、子どもの育児や発達のことで気になっている方や悩んでいる方に対し発達相談を行っています。	1	2	3	4
(3) 身体障害者相談員・知的障害者相談員 身体障害、知的障害のある人の相談に応じ、必要な援助を行うため、市内に相談員が配置されています。	1	2	3	4
(4) 聴覚障害者相談事業 相談や申請などで市役所に来庁した聴覚障害のある人の手話通訳を行います。	1	2	3	4
(5) 障害児相談支援事業所 障害福祉サービス等の利用の開始や継続に際して、障害のある人などやご家族からの相談を行っています。	1	2	3	4

問 11 あなた（記入者）は、お子さんの育ちや発達への切れ目のない支援としてどのようなことを希望されますか。（いくつでも○）

1. 乳幼児期から高等学校・特別支援学校高等部卒業まで一貫して相談・支援を受け続けられること
2. 入学・進学などのタイミングでお子さんへの支援情報が途切れないこと
3. 入学・進学などのタイミングに合わせて、関係する支援機関の紹介を受けられること
4. お子さんに関わる教育、保健、医療、福祉など関係機関の連携が強化されること
5. 不安なことなどがあつたときに支援機関へとつないでくれる専門の職員がいること
6. 子どものライフステージに合わせた保護者支援が行われること
7. その他〔具体的に： 〕
8. わからない

問 12 あなた（記入者）は、将来、お子さんにどのようなところで働いてほしいと考えていますか。（1つに○）

1. 会社やお店などで働く（一般就労）
2. 地域の障害者施設（作業所など）で働く（福祉的就労）
3. その他〔具体的に： 〕
4. わからない
5. 働くことは困難だと思う

防災についておたずねします

問 13 災害時に困ること・不安なことはなんですか。(いくつでも○)

1. 避難所まで避難できるか心配
2. 市の緊急速報メールを受信できるかわからない
3. お子さんのことを人に伝えて、うまく支援を受けられるか不安
4. 避難を支援してくれる人がいない
5. 災害や避難に関する情報が得られるか心配
6. 障害のある人に配慮した避難所があるのかわからない
7. 大勢の人の中での避難所生活に不安がある
8. 医療を受けられるかわからない
9. 呼吸器等に使用する非常用電源を利用できるかわからない
10. 障害のある人向けの防災マニュアル、防災マップがない
11. 避難場所がわからない
12. その他〔具体的に： _____ 〕

問 14 災害時に備えて、ふだんからどのようなことを行っていますか。

(いくつでも○)

1. 防災グッズ（非常用食料、飲料水等）の準備
2. 家具の固定、ガラス拡散対策
3. 貴重品・常備薬等をすぐ持ち出せるよう準備
4. 避難場所・ルートの確認
5. 防災訓練への参加
6. 災害時要援護者登録の対象になる場合、その登録
7. 緊急連絡先や支援の方法を記載した防災手帳やヘルプカードの準備
8. 補聴器の電池など日常生活に必要な用具に係る消耗品の備蓄
9. 呼吸器等の電源確保のための非常用電源装置等の準備
10. 簡易筆談器などコミュニケーション支援のための道具の準備
11. 日ごろの近所づきあいや町内会・自治会活動など地域とのかかわりを深める
12. その他〔具体的に： _____ 〕

問 15 地震などの災害が発生したときに、避難所で配慮してほしいことはなんですか。
(いくつでも○)

1. 段差がない、手すりのあるトイレなどの施設のバリアフリー
2. 文字や音声など複数の情報伝達手段があること
3. 手話などのコミュニケーション手段の確保
4. 個室、間仕切り（パーテーション）などでの対応が可能であること
5. 相談窓口や介助スタッフがいること
6. アレルギー対応食や介護食、離乳食などの確保
7. 医療や医薬品の確保
8. 配給などに並ぶことができない場合の支援
9. 他の避難者のお子さんへの理解
10. その他〔具体的に： 〕
11. 特にない
12. わからない

問 16 災害に備えて、市民や企業等が行政と協働で取組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも○)

1. 地域住民同士の声かけや安否確認
2. 住民たちで行う防災組織の活動の充実
3. 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実
4. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成
5. 地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催
6. 小・中学校の防災教育・訓練の充実
7. 府中市災害時要援護者名簿登録届兼救急災害医療情報キットの申込みの推進
8. 地域内外の団体等との日ごろからの交流
9. 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など
10. その他〔具体的に： 〕

医療についておたずねします

問 17 お子さんは、日常的に何らかの医療的ケアを必要としていますか。障害者手帳所持の有無に関わらず（発達障害なども含む）お答えください。（1つに○）

1. 必要としている →問 17-1、17-2にお答えください
2. 必要としていない →問 18へ進む

問 17-1 問 17で「1. 必要としている」とお答えの方におたずねします。
現在、お子さんはどのような医療的ケアを受けていますか。

（いくつでも○）

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 1. 人工呼吸器管理 | 8. 経管栄養
（経鼻・胃ろう・腸ろう・腸管栄養を含む） |
| 2. 気管内挿管、気管切開 | 9. 継続する透析（腹膜灌流を含む） |
| 3. 酸素吸入 | 10. 定期導尿 |
| 4. 経鼻咽頭エアウェイ管理 | 11. 人工肛門 |
| 5. 痰などの吸引 | 12. 服薬管理 |
| 6. ネブライザー | 13. その他〔具体的に： _____〕 |
| 7. 中心静脈栄養 | |

問 17-2 問 17で「1. 必要としている」とお答えの方におたずねします。
お子さんの医療的ケアにあたって、困りごとはありますか。

（いくつでも○）

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 在宅での医療的ケアがたいへん | 9. 訪問看護ステーションがない |
| 2. 通院などの移動がたいへん | 10. 困った時の相談先がわからない |
| 3. 長時間の介助がたいへん | 11. 医療的ケアに関する情報が少ない |
| 4. 休日・夜間の介助がたいへん | 12. 家族への支援が少ない |
| 5. 医療的ケアの費用負担が大きい | 13. 18歳以上の発達障害の受診機関がない |
| 6. 通園・通学先の受け入れが難しい | 14. その他 |
| 7. 緊急時・急変時の対応が難しい | 〔具体的に： _____〕 |
| 8. 身近に対応可能な医療機関がない | |

地域・共生社会についておたずねします

問 18 障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことをめざす「共生社会（ノーマライゼーション）」という考え方がありますが、この「共生社会（ノーマライゼーション）」は府中市民に十分理解されていると思いますか。（1つに○）

1. はい →問 19へ進む
2. いいえ →問 18-1にお答えください

問 18-1 問 18 で「2. いいえ」と答えた方におたずねします。

どのようなことがあればお子さんが「理解されている」と思いますか。

(3つまで○)

1. お子さんを特別な目で見ないこと
2. お子さんのことを理解して受け入れができること
3. お子さんがやりたいことへの手助けがあること
4. お子さんへの思いやりのある声かけがあること
5. お子さんが話すことを無視せず、話を聞くこと
6. トイレや駅などを利用しやすくすること
7. 盲導犬などの補助犬や車いすでの入店ができること
8. お子さんが大きな声を出したり動き回っても、嫌な顔をされないこと
9. その他〔具体的に： _____ 〕

問 19 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、「合理的配慮」として、国・地方公共団体や会社・お店など事業者に対して、障害のある人からバリアを取り除く対応を求められた際に、対応することが求められています。

役所、保育所・保育園・幼稚園、学校、会社、お店などで、どのような合理的配慮があるかといと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. お子さんや主たる養育者の方が、困っていると思われるときは、声をかけ、手伝いの必要性を確かめてから対応する
2. お子さんの歩行速度に合わせて案内したり、位置取りについて、お子さんの希望を聞く
3. 車いすなどを利用しているお子さんが利用しやすいよう机の高さなどに配慮する
4. 移動を手伝う（段差がある場合やエレベーターがない場合の上下移動の補助など）
5. 障害や疾病等の特性に応じて、教室や会場の座席の位置を決める
6. 音や肌触り、室温など感覚面の環境調整を行う
7. お子さんの疲労や緊張などに配慮し別室や休憩スペースを設ける
8. 物の位置を分かりやすく伝える
9. 収納を手伝う（手の届きにくいところにあるものをとる、しまうなど）
10. 障害の特性に応じたコミュニケーション手段を用いる
11. ゆっくりと短いことばや文章で、わかりやすく話しかける
12. 漢字を少なくする、ルビを振るなどの配慮をする
13. 伝える情報を紙に書くなどして整理し、ゆっくり具体的に伝えることを心掛ける
14. 障害や疾病等の特性を理解し、参加するための工夫をする
15. その他〔具体的に： _____ 〕
16. わからない

問 20 あなた（記入者）は、地域がお子さんの成長を支えてくれていると感じますか

(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. とても感じる | 3. あまり感じない |
| 2. まあ感じる | 4. 全く感じない |

施策についておたずねします

問 21 市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度は、次のうちどれですか。

(1つに○)

- | | | | |
|---------|-------------|---------|------------------------|
| 1. 満足 | } →問 22 へ進む | 3. やや不満 | } →問 21-1 にお答え
ください |
| 2. やや満足 | | 4. 不満 | |

問 21-1 問 21 で「3」「4」と答えた方におたずねします。バリアフリー環境の整備状況に不満な理由は次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. 建物の出入口や通路に段差があったり、幅が狭いこと
2. 公共施設や病院等にスロープ、エレベーターやエスカレーターがないこと
3. 誰もが使いやすいトイレの設置が不十分
4. 道路に障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が多いこと
5. 点字ブロック・視覚障害者用信号の設置が不十分
6. 電車・バスなどへの乗車が困難
7. 駐車場がない
8. 標識や案内がわかりにくい
9. お子さんに配慮したコミュニケーションがされていない
10. 盲導犬などの補助犬や車いすでの入室が配慮された店・レストランが少ない
11. 介助者の確保が難しい
12. その他〔具体的に： _____ 〕

問 22 府中市は障害のある人や育ちや発達が気になるお子さんの施策について、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(重要なものに5つまで○)

1. 各種相談事業を充実すること
2. 障害のある人が住宅を確保しやすくなるよう図ること
3. 権利擁護事業や成年後見制度の取り組みの充実を図ること
4. 障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること
5. ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること
6. 利用できる通所施設を整備すること
7. 補装具・日常生活用具給付事業を充実すること
8. 外出時の移動支援サービスを充実すること
9. グループホームを充実すること
10. 視覚・聴覚などの障害に配慮した情報提供を充実すること
11. ライフステージに合わせた、切れ目のない支援をすること
12. 障害のある人の自立生活をめざした取り組みが家庭・学校・地域で行われること
13. 障害のある人や育ちや発達が気になるお子さんに対する暴力や差別をなくすこと
14. 障害のある人や育ちや発達が気になるお子さんが受診しやすい医療体制を充実すること
15. 障害のある人や育ちや発達が気になるお子さんのための短期入所を充実すること
16. 精神状態の不安定に対する支援の充実
17. その他〔具体的に： 〕
18. わからない

問 23 府中市の障害のある人や育ちや発達が気になるお子さんの施策、地域で暮らし続けるために必要なこと等に関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

16 ページ以降は、お子さんの保護者の方についての質問がございます。
続けてご回答ください。

お子さんを主に養育している保護者についておたずねします

問 24 お子さんを主に養育しているのはどなたですか。(1つに○)

1. 母親
2. 父親
3. その他〔具体的に： _____〕

問 25 主たる養育者の方の年齢を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 4. 30～34歳 | 7. 50～59歳 |
| 2. 20～24歳 | 5. 35～39歳 | 8. 60歳以上 |
| 3. 25～29歳 | 6. 40～49歳 | |

問 26 主たる養育者の方の就労状況等を教えてください(1つに○)

1. 自営業
2. 正規雇用(正社員など)
3. 非正規雇用(契約社員、嘱託社員、パート・アルバイトなど)
4. その他〔具体的に： _____〕
5. 働いていない

問 27 世帯の収入源と、年収についておたずねします。年収は、税金などを差し引く前の額でお答えください。年金、手当、生活保護費、親族からの援助もすべて含みます。

(1) 世帯の収入源(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 母親の仕事の収入 | 5. 生活保護費 |
| 2. 父親の仕事の収入 | 6. 親族からの援助 |
| 3. 各種手当 | 7. その他 |
| 4. 国民年金・厚生年金・障害基礎年金 | 〔具体的に： _____〕 |

(2) 世帯の年収(1つに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 200万円未満 | 6. 600万円以上～700万円未満 |
| 2. 200万円以上～300万円未満 | 7. 700万円以上～800万円未満 |
| 3. 300万円以上～400万円未満 | 8. 800万円以上～900万円未満 |
| 4. 400万円以上～500万円未満 | 9. 900万円以上～1,000万円未満 |
| 5. 500万円以上～600万円未満 | 10. 1,000万円以上 |

問 28 主たる養育者の方は、**近隣に住む人**と、どの程度おつきあいしていますか。
(1つに○)

1. 個人的なことを相談し合える人がいる
2. さしさわりのないことなら、話せる人がいる
3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる
4. **あいさつや会話は無いが、顔を見れば近所の人だと分かる人がいる**
5. **全く交流はなく、近隣に住む人を知らない**

問 29 主たる養育者の方は、ご自身の悩みや困りごとを相談できる人がいますか。
(1つに○)

1. いる →問 29-1にお答えください 2. いない →問 30へ進む

問 29-1 問 29で「1. いる」と答えた方におたずねします。どなた(どこ)に相談しますか。(いくつでも○)

1. 家族・親族
2. 保育園・幼稚園・学校
3. 友人・知人
4. お子さんと同じ状況の子ども**が**いる人
5. 子ども発達支援センターあゆの子の職員
6. 相談支援事業所の職員
7. 地域生活支援センターの職員
8. 障害児通所施設・サービス提供事業所の職員
9. 市役所の職員
10. **多摩府中保健所**の職員
11. 民生・児童委員
12. 医療機関の職員(医師、看護師、医療相談員など)
13. その他〔具体的に：]

問 30 育ちや発達が気になるお子さんに関して、養育の負担感やストレスを軽減させるために、主たる養育者の方が重要だと考えることは何ですか。次の項目の中から、優先順位の高いものを3つ、下記の に番号を記入してください。

1. 日中、一時的にお子さんを預かってくれるサービス
2. 数日間、お子さんを預かってくれるサービス
3. お子さんの世話のために、十分に手が回らない家事などへのサポート
4. お子さんを自宅や近所で介助してくれるサービス
5. 育ちや発達が気になるお子さんの兄弟姉妹に対するサポート
6. 育ちや発達が気になるお子さんを持つ養育者同士が交流し、情報交換などを行うこと
7. 主たる養育者の方ご自身が趣味、学習、就労など、社会的活動に参加すること
8. お子さんが将来、主たる養育者の手を離れても生活できるという見通しを持てること
9. 主たる養育者の方以外の家族の方が、もっとお子さんの世話に参加してくれること
10. お子さんの世話のために生じる経済的な負担が軽減されること
11. お子さんの障害に対する正しい知識や、向きあい方を学ぶ機会を充実すること
12. お子さんの育ちや発達について何でも気軽に相談でき、適切なアドバイスをもらえる機関
13. 療育や教育の体制を充実すること
14. 学童クラブなど放課後活動を充実すること
15. 医療機関のサービス（通院、対応等）が充実すること
16. その他〔具体的に：]

番号を1つ記入	番号を1つ記入	番号を1つ記入

——ご協力ありがとうございました——